令和8年11月19日

報道機関各位

青森県立美術館

企画展「志賀理江子 なぬもかぬも」展
関連イベントを開催します

青森県立美術館では、令和9年3月14日（日）までの期間、企画展「青森県立美術館開館20周年 / 東日本大震災15年 志賀理江子 なぬもかぬも」展を開催しています。

今般、当企画展の関連イベントを下記のとおり行いますので、取材してくださるようお願いいたします。

記

1　概要

（1）私と〈東北〉

①日時：11月21日（土）11:00～16:15

②スケジュール：11:00-12:00 志賀による展示および作品解説
13:30-15:00 山内と志賀のクロストーク
15:15-16:15 清水によるメキシコ民衆版画を知るトーク

③話し手：山内明美（歴史社会学者）、清水チナツ（インディペンデント・キュレーター）、志賀理江子（本展作家）

（2）私と〈核〉

①日時：11月22日（日）11:00～15:30

②スケジュール：11:00-12:00 志賀による展示および作品解説
13:30-15:30 宮本、竹内、志賀によるクロストーク

③話し手：宮本ゆき（倫理学者）、竹内としえ（アーティスト）、志賀理江子（本展作家）

2　会場

青森県立美術館　地下1階ワークショップルームB

3　その他

取材いただける場合は、10:45までに1F総合案内にお集まりください。会場へご案内します。

報道機関用提出資料（連絡先）	
担　　当	青森県立美術館　経営管理課　櫻庭
電話番号	017-783-5240
メールアドレス	aya_sakuraba1@pref.aomori.lg.jp
所属長	青森県立美術館　副館長　坪　健一

関連イベント（11 月分）詳細

志賀の案内のもと、志賀に影響を与え続ける方々の言葉や実践を通して、作品を成り立たせる源泉に触れるトーク等連続イベントを開催します。今回は、展示初日のオープニングトークに続いて 11 月に開催する、2 回目 3 回目のイベントのご案内になります。

（1）私と〈東北〉

志賀による作品解説をお聞きいただいたのち、〈東北〉に根ざしたアート、歴史社会学者、キュレーションや出版といった分野の仕事に取り組み、互いを刺激しあう 3 名を話し手として迎え、自身と〈東北〉という場所の関わり、その中で互いの活動をどう見ているかを語り合っていただきます。〈東北〉における民衆と美術の歴史の交わるところを浮かび上がらせ、その語りを更新することを試みるトークイベントです。

話し手

・山内明美（歴史社会学者／宮城県南三陸拠点）
・清水チナツ（インディペンデント・キュレーター／宮城県柴田郡拠点）
・志賀理江子（展示作家／宮城県石巻市拠点）

（2）私と〈核〉

志賀による作品解説をお聞きいただいたのち、生きていく上で必要不可欠なエネルギーを様々な側面から語り、意見を交換し合うトークイベントです。核の語りを倫理学の分野から探求する宮本ゆきさん、コンゴでのウラン採掘の実際をリサーチするアーティストの竹内としえさんをお招きして、志賀とのクロストークを行います。「火を使うことからはじまった人間の生と、いま『核』に至るエネルギーは、どのような構造でつながっているのだろうか」（志賀）。

話し手

・宮本ゆき（倫理学者／デュポール大学教授）
・竹内としえ（アーティスト）
・志賀理江子